



目標 15 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

地球の表面積の 30.7%を覆う森林は、食料の安定確保と住処の提供のほか、気候変動との闘いや、生物多様性と先住民の居住地の保護にも鍵を握る役割を果たします。私たちは森林を保護することにより、天然資源の管理を強化し、土地生産性を高めることもできます。

現在、毎年 1,300 万ヘクタールの森林が失われる一方で、乾燥地の劣化が続いていることにより 36 億ヘクタールが砂漠化しています。現時点で保護対象となっている陸地は、全体の 15%程度にまで達していますが、生物多様性は依然としてリスクにさらされています。人間の活動と気候変動に起因する森林破壊と砂漠化は、持続可能な開発に大きな課題を突き付けるとともに、貧困と闘う人々の生活と生計に影響を及ぼしています。

森林管理と砂漠化対策の取り組みが進められているところです。現在のところ、公平な資源利用を推進する 2 件の国際協定が実施に移されています。生物多様性を支援する財政投資も行われています。

「ライオンズシェア」基金

2018 年 6 月 21 日、国連開発計画 (UNDP)、プロダクション企業の FINCH、そして創設パートナーであるマース・インコーポレイテッド (Mars, Incorporated) が「ライオンズシェア」の立ち上げを発表しました。このイニシアティブは、広告主にメディア広告費の一定割合を動物の保全と福祉に向けたプロジェクトに拠出するよう要請することにより、全世界の動物の生息環境を一変させることをねらいとしています。ライオンズシェアのパートナーは、動物を扱う広告を制作するごとに、そのメディア広告費の 0.5%を拠出することになります。拠出された資金は、全世界の動物とその生息地の保護に用いられます。この基金は 3 年以内に年間 1 億米ドルの資金調達を目指していますが、その資金は国連と市民社会団体が実施する幅広い野生生物保全・動物福祉プログラムに投資される予定です。

事実と数字

森林

- およそ 16 億人が、森林に依存して生計を立てています。その中には、約 7,000 万人の先住民が含まれます。
- 森林には陸生種の動植物と昆虫の 80%以上が生息しています。
- 2010 年から 2015 年にかけて、世界では 330 万ヘクタールの森林が失われました。農村部の貧しい女性は、共同利用資源に依存しているため、森林破壊による特に大きな影響を受けています。

砂漠化

- 26 億人が農業に直接依存していますが、農地の 52%は土壤荒廃による中程度の、または深刻な影響を受けています。
- 耕地の喪失は、かつてのペースの 30 倍から 35 倍の速さで進んでいるものと見られます。
- 毎年、干ばつと砂漠化によって 1,200 万ヘクタール(1 分間に 23 ヘクタール)の土地が失われています。これは 1 年間で 2,000 万トンの穀物が栽培できる面積に当たります。
- 全世界で貧困層の 74%が、土地劣化の直接的影響を受けています。

生物多様性

- 野生生物の密猟と密売は、依然として保全に向けた取り組みを損なっており、報告されている 7,000 種近い動植物の不正取引には、120 カ国が関与しています。
- 確認されている 8,300 の動物種のうち、8%は絶滅し、22%が絶滅の危機にさらされています。
- 8 万を超える樹種のうち、潜在的な利用可能性が検討されているものは 1%にも達していません。
- 魚は約 30 億人に動物性タンパク質の 20%を提供しています。わずか 10 の魚種で海洋捕獲漁業の漁獲高の約 30%を占める一方、養殖漁業生産の約 50%も 10 種で占められています。
- 人間が摂取する食料の 80%以上は植物に由来します。コメ、トウモロコシ、小麦の 3 つの穀物だけで、エネルギー摂取量の 60%を占めています。
- 開発途上国では、農村部の住民の 80%にも上る人々が、基本医療を伝統的な植物ベースの薬に依存しています。
- 微生物と無脊椎動物は、生態系サービスにおいて鍵を握る存在ですが、その貢献度はあまり知られておらず、認識されることもほとんどありません。

<https://www.un.org/sustainabledevelopment/biodiversity/>

日本語訳・国連広報センター(2018年12月)